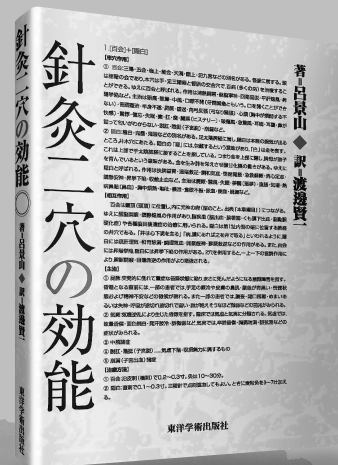


二穴の組み合わせを把握することで理解できる、針灸処方の本質。

針灸二穴の 効能

呂景山 著・渡邊賢二 訳

A5判／並製／本文312頁／定価：3,990円(税込)

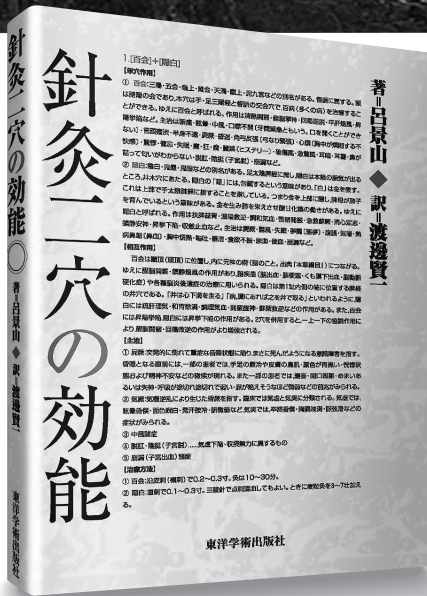


二穴の配合は、すべての鍼灸師が知っておくべき 針灸処方原点である。

(二穴の組み合わせは) 配穴の基本型である。)

これを把握することで針灸処方の本質を深く理解できる。

- ◆ 二穴を組み合わせることで、相乗効果で効力を高めたり、新たな効能を生み出して、単穴とは異なる独特の治療効果を得ることができる。
- ◆ 本書には、223対の腧穴の組み合わせが収録され、単穴の作用・相互作用・主治・治療方法・治療経験が詳細に記載されている。
- ◆ 本書に記された二穴の組み合わせは、本書の姉妹篇『二薬の配合法則』(日本語版『中医対薬』)を著者・呂景山が針灸に応用して完成した。



呂景山 (ろけいざん) プロフィール

1934年生まれ。河南省洛陽偃師県出身。1962年、北京中医学院第1期卒業生。北京四大名医・施今墨先生および祝謙予教授に師事した。40年あまり医業に携わり、高い学術水準、豊富な臨床経験をもっている。その優れた業績により、1992年に政府より特別報奨金を授与されている。山西省中医薬研究院主任医師、山西中医学院教授、山西省針灸研究所所長を歴任。著書は「施今墨対薬」「施今墨対薬臨床経験集」(1982年度全国優秀科技図書1等)「単穴治病選萃」など。内科・婦人科の治療を得意とし、強直性脊椎炎やアレルギー疾患など、治療や診断の困難な疾患に対しても優れた手腕を発揮している。

中医学を学ぶための雑誌『中医臨床』(季刊)ますます面白く、実用的な内容になっています。



東洋学術出版社

ご注文は、メールまたはフリーダイヤルFAXで

FAX.0120-727-060

〒272-0822 千葉県市川市宮久保3-1-5 / TEL.047-371-8337 / E-mail:hanbai@chuui.co.jp / ホームページ ●http://www.chuui.co.jp/ ●http://www.chuui.com/

針灸二穴の効能

◆本書に収録する全 223 対

1. 啓閉醒腦開竅類

百会+隠白	百会+人中	人中+風府
人中+合谷	湧泉+足三里	素髻+内関
膻中+内関	人中+会陰	曲池+中衝
印堂+上脘	曲沢+委中	人中+委中
内関+内庭		

2. 疏風解表清熱類

風池+風府	風門+肺俞	風門+身柱
合谷+曲池	大椎+束骨	天柱+束骨
孔最+合谷	大都+経渠	二間+陰郄
合谷+復溜	少商+商陽	期門+温溜
陶道+肺俞	膏肓俞+百勞	膏肓俞+足三里
内関+三陰交	魚際+太谿	

3. 去風止痒類

肩髃+曲池	曲池+血海	屋翳+至陰
-------	-------	-------

4. 和表裏調気血疏肝胆類

大椎+間使	大杼+間使	支溝+陽陵泉
梁門+陽輔	外関+陽輔	太谿+商陽
外関+足臨泣	胆俞+日月	

5. 清熱解毒消腫止痛類

太谿+中渚	液門+魚際	合谷+内庭
足三里+二間	二間+太谿	下関+合谷
手三里+太谿	廉泉+中衝	陽谷+俠谿
身柱+委中	委中+膈俞	委中+女膝
鳩来+太衝	承山+三陰交	委中+承山
委陽+天池	三間+後谿	

6. 清熱明目類

足三里+肝俞	攢竹+三間	攢竹+商陽
睛明+行間	睛明+合谷	合谷+光明
天柱+養老	風池+合谷	風池+水泉
支正+飛揚	肝俞+少沢	糸竹空+攢竹

7. 通竅亮音益聴類

翳風+聴会	天牖+四瀆	聴会+金門
聴会+迎香	迎香+合谷	迎香+足三里
上星+迎香	廉泉+通里	瘡門+湧泉
瘡門+関衝	瘡門+廉泉	天鼎+間使

8. 止咳平喘類

天突+尺沢	肺俞+天突	天突+膻中
肺俞+中府	乳根+俞府	璇璣+氣海
膻中+氣海	璇璣+巨闕	中腕+豐隆
関元+腎俞	列缺+足三里	肺俞+孔最
身柱+大杼	列缺+照海	豐隆+列缺
大椎+内関	俞府+雲門	

9. 清熱涼血止血類

上星+禾髻	上星+素髻	天府+合谷
膈俞+足三里	長強+承山	

10. 清熱利湿退黄類

胆俞+陽綱	至陽+湧泉	中腕+腕骨
足三里+太衝	陽陵泉+足三里	行間+少衝

11. 醒脾開胃増食類

璇璣+足三里	中庭+中府	脾俞+胃俞
魂門+胃俞	脾俞+膀胱俞	

12. 調整胃腸止瀉通便類

天枢+足三里	合谷+足三里	大腸俞+陰陵泉
百会+長強	建里+足三里	支溝+足三里
支溝+照海	豐隆+陽陵泉	命門+太谿

13. 調和腸胃理気止痛類

中腕+足三里	梁門+足三里	内関+公孫
足三里+三陰交	勞宮+章門	期門+中腕
足三里+内庭	内関+厲兌	手三里+足三里
下腕+陷谷	陰谷+行間	内庭+足臨泣

14. 開胸順気利膈暢中類

神藏+璇璣	勞宮+足三里	承山+陰陵泉
膻中+巨闕	陰交+承山	中府+意舎
天突+列缺		

15. 強心止痛類

中腕+大陵	心俞+内関	巨闕+心俞
心俞+通里	膻中+内関	

16. 寧心安神類

神門+三陰交	通里+照海	通里+大鐘
厲兌+隠白	申脈+照海	

17. 鎮静鎮驚抗癲癇類

上腕+神門	鳩尾+後谿	勞宮+湧泉
人中+間使	四神聰+湧泉	本神+身柱
人中+少商	後谿+申脈	

18. 平肝熄風通絡止痛類

合谷+太衝	太谿+太衝	百会+湧泉
行間+湧泉	二間+厲兌	内関+足三里
足三里+懸鐘	百会+風府	風池+後谿

19. 利尿消腫類

人中+前頂	足三里+陰陵泉	氣海+足三里
水分+復溜	水分+陰陵泉	水分+氣海

20. 固精止帶摂尿類

氣海+三陰交	中極+三陰交	命門+腎俞
氣海+然谷	心俞+白環俞	心俞+腎俞
志室+三陰交	大赫+太谿	

21. 舒筋活絡去風止痛類

承漿+後谿	後谿+束骨	列缺+後谿
風池+懸鐘	人中+曲池	承漿+風府
懸鐘+崑崙	水道+筋縮	白環俞+委中
天柱+大杼	腎俞+三間	尺沢+曲池
尺沢+合谷	腎俞+委中	人中+瘡門
環跳+陽陵泉	後谿+環跳	曲池+陽陵泉
後谿+崑崙	横骨+大都	陽陵泉+懸鐘
陽陵泉+太衝	環跳+委中	陽陵泉+陰陵泉
曲泉+膝陽関		

22. 散結消瘰類

少海+天井	曲池+臂臑	
-------	-------	--

23. 婦人雑病類

関元+氣海	中極+子宮	曲池+三陰交
合谷+三陰交	氣海+天枢	鳩来+三陰交
大敦+隠白	交信+合陽	足三里+至陰
外関+照海	光明+足臨泣	乳根+少沢

1 啓閉醒腦開竅類

1. [百会]+[隠白]

【単穴作用】

1. **百会**：三陽・五会・巔上・維会・天満・巔上・泥九宮などの別名がある。督脈に属する。頭は諸陽の会であり、本穴は手・足三陽経と督脈の交会穴で、百病（多くの病）を治療することができる。ゆえに百会と呼ばれる。作用は清熱開竅・健腦寧神・回陽固脱・平肝熄風¹⁾・昇陽挙陷など。主治は頭痛・眩暈・中風²⁾・口噤不開（牙関緊急ともいう。口を開くことができない）・言語蹇澀・半身不遂・癱厥・昏迷・角弓反張（弓なり緊張）・心煩〔胸中が煩悶する不快感〕・驚悸・健忘・失眠・癲・癩・狂・癲・臟躁〔ヒステリー〕・破傷風・急驚風³⁾・耳鳴・耳聾・鼻が詰まって匂いがわからない・脱肛・陰挺（子宮脱）・崩漏⁴⁾など。
2. **隠白**：陰白・鬼壘・鬼眼などの別名がある。足太陰脾經に属し、隠白は本經の脈氣が出る所、井木穴にあたる。隠白の「隠」には、包蔵するという意味があり、「白」は金を表す。これは上部で手太陰肺經に接することを指している。つまり金を上部に隠し、脾胃が肺子を育んでいるという意味がある。金を生み肺を榮えさせ酸甘化陰の働きがある。ゆえに隠白と呼ばれる。作用は扶脾益胃・温陽救逆・調和氣血・啓閉開竅・急救蘇厥・清心定志・鎮静安神・昇挙下陷・収斂止血など。主治は癱厥・驚風⁵⁾・失眠・夢魘〔悪夢〕・腹脹・氣喘・熱病鼻衄〔鼻血〕・胸中煩熱・嘔吐・暴泄・食欲不振・尿血・便血・崩漏など。

【相互作用】

百会は巔頂目⁶⁾）に於て出血・腦梗塞用いられる。心下滿を主るには疏肝理氣を増強される。

【主治】

1. 癱厥：突る意識障害を指す。昏睡となる状態には、一部の患者では、手足の厥冷や皮膚の烏肌・顔色が青黒い・恍惚状態および精神不安などの徴候が現れる。また一部の患者では、譫妄・開口困難・めまいあるいは失神・呼吸が途切れ途切れで弱い・脈が絶えそうなほど微弱などの前兆がみられる。
2. 氣厥：氣機逆乱により生じた昏厥を指す。臨床では氣虚と氣実に分類される。氣虚では、眩暈昏僕・面色皓白・発汗肢冷・脈微弱など。氣実では、卒然昏僕・胸膈喘滿・脈弦滑などの症状がみられる。

【治療方法】

1. 百会：沿皮刺（横刺）で0.2～0.3寸。灸は10～30分。
2. 隠白：直刺で0.1～0.3寸。三稜針で点刺滴血してもよい。ときに麦粒灸を3～7粒加える。

【経験】

百会と隠白の併用は、『雜病穴法歌⁷⁾』の「癱厥は百会一穴で特効がある。隠白に針すればさらに効果はがっかりする」に始まる。筆者の体験では、虚証を治療するときには、針で補法を行い灸を重点的に用いるとよ